

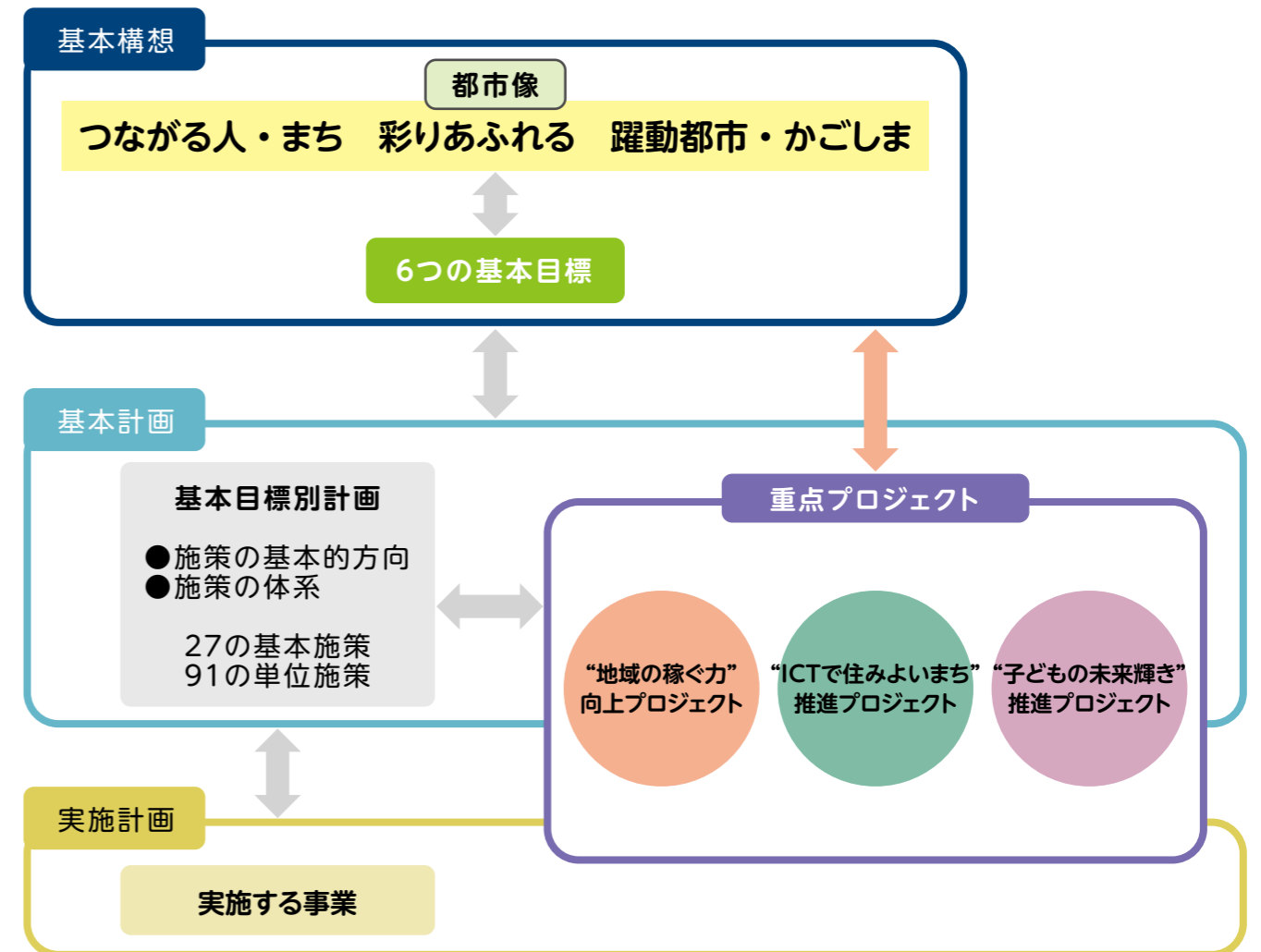
第六次総合計画  
前期基本計画

## 重点プロジェクト

- 1 “地域の稼ぐ力” 向上プロジェクト
- 2 “ICTで住みよいまち” 推進プロジェクト
- 3 “子どもの未来輝き” 推進プロジェクト

# 重点プロジェクト

- 基本構想に掲げた都市像は、6つの基本目標の達成、基本計画及び実施計画に掲げる基本・単位施策及び事業を展開することを通じて実現していくことが基本となりますが、この施策・事業を展開していくに当たり、本市の現況や時代の潮流などを踏まえ、特に先導的かつ重点的に取り組む3つの施策・事業群を「重点プロジェクト」として掲げます。
- 「重点プロジェクト」の施策・事業は、基本計画「基本目標別計画」及び「実施計画」に掲げる施策・事業の中に含まれるものであり、基本目標の達成、ひいては都市像の実現を一層推進していく役割を担うものです。



# プロジェクト 1 “地域の稼ぐ力” 向上プロジェクト

ねらい

人口減少により、国内市場の縮小や人手不足が顕在化するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域経済への長期の影響が懸念されています。

地域産業の生産性向上や海外展開等を支援するほか、MICEやインバウンドへの対応の強化など観光消費額を高める取組を推進することにより、“地域の稼ぐ力”を向上させます。



## 概要

- 地域産業のさらなる活力の向上を図るため、ICT等の活用による生産性向上や急成長を目指す企業の新たな事業展開等を支援するほか、海外展開を促進します。
- 農林水産業の収益性向上や農林水産物の高付加価値化・消費拡大を図るため、スマート農林水産業の導入支援や6次産業化・農商工連携の促進に取り組みます。
- 観光消費額のさらなる拡大のため、観光資源の付加価値を高めながら、経済効果が高いMICEの積極的な誘致を行うとともに、今後回復が見込まれるインバウンド対応を強化するほか、多様なツーリズムを展開します。

プロジェクトのイメージ図

## “地域の稼ぐ力” 向上



実施する主な取組

### 地域産業の生産性向上支援

- ◆ ICT等の活用により、中小企業の業務効率化・売上アップを図るための取組を支援します。
- ◆ 急成長を目指す企業や起業家の新たな事業展開に対し、伴走型の支援を行うほか、新規事業や業態転換など、新たな領域に挑戦する事業承継を支援します。

### アジアマーケットへの進出支援

- ◆ 海外で開催される展示会等への出展を支援するなど、成長著しいアジア市場への販路拡大や事業展開を戦略的に支援します。
- ◆ 魚類市場を南九州の輸出拠点として位置づけ、開設者と市場関係者が一体となって輸出拡大に取り組むほか、木材の輸出に必要な環境整備を図ります。

### 農林水産業の収益性向上支援

- ◆ スマート農林水産業を導入し、経営の効率化を図るなど、収益性を高める取組を支援します。
- ◆ 6次産業化や農商工連携などにより、市内産農林水産物の付加価値向上や販路拡大に取り組みます。

### MICEの積極的な誘致

- ◆ MICE誘致戦略プランに基づき、本市素材を生かしたエクスカージョン※等の促進を図るなど、大きな経済効果のあるMICEの誘致に取り組みます。
- ◆ プロ・実業団チームや学生・団体などのスポーツキャンプ・合宿等の誘致を推進します。

### インバウンド対応の強化

- ◆ 各市場の特性に応じた観光プロモーションを展開するほか、外国人観光客向けの新たな魅力の創造や安心快適な受入環境の整備に取り組みます。
- ◆ 海外からの観光客誘致に対応できるインバウンド対応人材の育成のほか、クルーズ船の観光客が鹿児島島の魅力を体験できる環境づくりに取り組みます。

### 多様なツーリズムの展開

- ◆ 修学旅行やグリーン・ツーリズム、スポーツツーリズムなどの多様なツーリズムを展開します。
- ◆ 本市の特性を生かした、鹿児島らしさを体感できる体験型観光を推進します。



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
市内就業人口1人当たりの総生産	6,534千円	7,073千円	鹿児島市統計書(市内総生産/市内就業人口)
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
新たな事業展開に取り組む事業者数	17事業者/年	5年間で110事業者	
スマート農林水産業関連技術の導入件数	16件/年	5年間で65件	市農林水産部統計
1人1泊当たりの外国人観光消費額	30,700円/人泊	33,000円/人泊	市観光消費額調査

市民 みんなで

市民・地域

- ◆ 市内企業の製品・サービス等に対する理解を深め、積極的に利用しましょう。
- ◆ 地元の農林水産物やそれらを活用した商品の魅力を理解し、多くの人に伝えましょう。
- ◆ 鹿児島らしさを見つけ、価値ある体験を観光客に伝えましょう。

事業者・団体等

- ◆ 魅力ある新商品等の開発や販路拡大に取り組ましましょう。
- ◆ ICT等のスマート農林水産技術を活用し、生産性の向上や省力化等に取り組ましましょう。
- ◆ 観光資源の付加価値を高めながら、MICEやインバウンド、多様なツーリズムに取り組ましましょう。

※エクスカージョン：MICE参加者等を対象とした体験型見学会のこと。

# プロジェクト 2 “ICTで住みよいまち” 推進プロジェクト

ねらい

AIやIoTなど技術革新が進む中、新型コロナウイルス感染症対策を契機に、テレワークやキャッシュレス決済など、企業活動・市民生活にもデジタル化の動きがさらに広がっています。  
行政の手続や市民サービスへICTを積極的に活用して、市民の利便性の向上や自治体業務の効率化を図ることにより、市民にとって、もっと便利で住みよいまちになることを目指します。



## 概要

- 市民の利便性向上や行政サービスの効率化を図るため、行政手続のデジタル化など、市民サービスにICTを積極的に活用する取組を進めるほか、新たなICTを積極的に取り入れるなど、DX（デジタル・トランスフォーメーション※1）を推進します。
- 高齢者をはじめ誰もがICTの恩恵を享受できるよう、市民のICTリテラシー※2向上を推進します。
- 距離的・時間的な制約がなく、競争力を持つことができるICT関連産業を本市の将来の基幹産業に育てるため、ICT技術者などの人材を育成するとともに、雇用の受け皿となるICT関連企業の誘致等を推進します。

プロジェクトのイメージ図

## “ICTで住みよいまち” 推進



※1 デジタル・トランスフォーメーション：「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という考え方。



実施する主な取組

- ICTの活用による市民サービスの向上**
  - ◆ 窓口手続の簡素化・オンライン化や窓口手数料等の支払におけるキャッシュレス決済の拡充など、行政手続のデジタル化を推進します。
  - ◆ 市民生活を向上させるため、健康分野をはじめ、さまざまな分野の市民サービスにICTを活用します。
- ICTリテラシー向上の推進**
  - ◆ デジタルデバインド(情報格差)対策として、市民へのICTに関する講座の充実をはじめ、学習機会の提供に取り組みます。
  - ◆ さまざまな機会を通じて市民にオープンデータ※3等の活用を働きかけ、市民のデータ活用力を高めます。
- 自治体DX推進**
  - ◆ 住民記録、地方税、福祉など、主要な業務を処理する情報システムの標準化を進めるとともに、AIやRPA※4などの利活用による業務効率化を推進します。
  - ◆ 全庁的なDXの推進に当たり、外部人材の活用・職員の育成に取り組みます。
  - ◆ 情報システムの標準化やクラウドサービス等の活用などを進めるに当たり、国の情報セキュリティポリシーガイドラインなどを踏まえたセキュリティ対策の徹底に取り組みます。
- ICT関連産業の振興**
  - ◆ 新しいサービスや付加価値の創出を促進するため、AIやIoTなど新たなICTを利活用できる人材や企業の育成に取り組みます。
  - ◆ ICT関連企業の戦略的な企業立地に取り組みます。

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
	「ICTの活用により、生活が便利になった」と感じる市民の割合	52.6%	65.0%
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
電子申請利用件数	29,441件	43,000件	
国が策定する標準仕様に準拠した業務システムへの移行件数	—	5年間で20件	
ICT関連企業の立地協定件数	1件/年	5年間で15件	

市民  
みんな

市民・地域

- ◆ 行政の手続や市民サービスにおいて、電子申請やアプリなどを積極的に利用しましょう。
- ◆ ICTに関する理解を深め、暮らしや仕事にICTを活用し、生活の質を向上させましょう。

事業者・団体等

- ◆ AIやIoTなどの新しい技術を活用できる人材育成や業務のデジタル化を推進しましょう。
- ◆ ICTを利用して、便利で魅力的なサービスや商品を創出しましょう。

※2 ICTリテラシー：ICTを安心・安全に利用するための知識や活用するための能力などのこと。  
 ※3 オープンデータ：地方公共団体等が保有する公共データを、二次利用可能なルールの下で公開すること。  
 ※4 RPA：ロボットによる業務自動化のこと。

# プロジェクト 3 “子どもの未来輝き” 推進プロジェクト

共働き家庭の増加等により、保育を必要とする保護者のニーズが高まる一方、保育士等の不足などにより、保育所等では依然として待機児童が発生しており、その解消が課題となっています。

また、子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化などを背景に、児童虐待対策の体制強化や子どもの貧困対策などが喫緊の課題になっているほか、子どもへの教育においては、グローバル化や技術革新など、大きく変化する社会環境に対応できる資質・能力を育むことが求められています。

ソフト・ハード両面からの子育て環境の充実のほか、子どもを守るための取組や新しい時代に対応した教育の推進を図り、子どもが夢や希望を持ち輝ける地域社会を目指します。



概要	
● 待機児童ゼロを実現するため、保育士等の確保や施設整備に取り組むほか、身近な地域における子育て支援体制の整備や仕事と家庭を両立しやすい環境づくりを推進します。	
● 子どもを社会全体で守り育てるという気運を醸成し、子どもに関わるさまざまな問題の予防につなげるとともに、児童虐待対策の体制強化を図るなど、子どもの権利を尊重し、未来を応援する取組を推進します。	
● 社会の変化に対応するための情報活用能力や国際的な視野を育むとともに、キャリア教育を推進し、新しい時代に活躍できる人材を育成します。	

プロジェクトのイメージ図



実施する主な取組

- 待機児童ゼロに向けた取組の推進**
  - ◆ 保育士等の魅力発信や復職支援により、保育人材を確保するなど、保育の受け皿の確保に取り組みます。
  - ◆ 利用ニーズや地域の実情を踏まえ、施設整備等に取り組み、児童クラブの充実を図ります。
- 家族と地域における子育て支援の促進**
  - ◆ 家族において世代間で助け合いながら子育てできるように、親と近居・同居する子育て世代を支援します。
  - ◆ 地域の身近な場所での育児等の相談や子育て家庭の交流の場の提供など、地域における子育て支援の充実を図ります。
  - ◆ 妊産婦への支援や産後ケア、病児・病後児保育など、妊娠・子育て中の親に寄り添う支援の充実を図ります。
- 「働き方・暮らし方の変革」の促進**
  - ◆ 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発や「イクボス推進同盟」への参加促進を図るなど、仕事と家庭を両立しやすい環境づくりを推進します。
  - ◆ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、働き手の事情に応じた多様で柔軟な働き方を促進します。
- 子どもの未来を応援する取組の推進**
  - ◆ 子どもの権利を尊重し、未来を応援する条例の制定により、子どもの貧困や児童虐待など、さまざまな問題から子どもを地域全体で守り育てる取組を行います。
  - ◆ 子どもと家庭を総合的に支援する体制の核となる、子育て支援機能や母子保健機能を有する児童相談所の設置に向けて取り組みます。
- 新しい時代に対応できる子どもの育成**
  - ◆ プログラミング教育<sup>\*1</sup>など、情報教育の推進やICTを活用できる学習環境の整備に取り組みます。
  - ◆ 国際的な視野を広げるさまざまな機会の提供や、家庭の経済状況に関わらず海外での交流体験ができるよう支援を行います。
  - ◆ 子どもが社会的・職業的自立を目指し、将来に向けた進路を意識してキャリアプラン<sup>\*2</sup>を設定できるように、地域住民等と連携・協働した職場体験学習などのキャリア教育の充実を図ります。

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	72.9%	80.0%	全国学力・学習状況調査
主な指標			
保育所等の待機児童数	82人	0人	
「この地域で子育てをしたい」と思う親の割合	95.0%	100.0%	健やか親子21アンケート
授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較	小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	全国学力・学習状況調査

- 市民 みんなで
- 市民・地域**
    - ◇ 仕事と生活の調和を心がけ、性別に関わりなく子育てに協力して取り組みましょう。
    - ◇ 地域全体で子どもと子育て家庭を見守り、さまざまな体験活動の提供や交流の場づくりなど、心身ともに健全な子どもを育む環境づくりを推進しましょう。
  - 事業者・団体等**
    - ◇ 長時間労働の是正や育児休業の取得を促進し、ワーク・ライフ・バランスを推進しましょう。
    - ◇ 子どもが職業について学ぶ機会の提供など、社会で活躍できる人材の育成を支援しましょう。

<sup>\*1</sup> プログラミング教育：プログラミングによりコンピュータの仕組みや論理的思考力を身に付ける教育活動。  
<sup>\*2</sup> キャリアプラン：自分の将来の理想像に向けた具体的な行動計画。